



山形大学入試問題・前期

2022年度 数学

(1/1)

## 【第3問】

平面上に点  $O, A, B, C, D$  があり,  $OA = 2, OB = 3, \overrightarrow{OC} = 3\overrightarrow{OA} - \overrightarrow{OB}$ ,  $OC = \sqrt{15}$  を満たすとする。また, 線分  $OB$  上に点  $H$  があり,  $\overrightarrow{OB}$  と  $\overrightarrow{DH}$  は直交しているとする。さらに, 線分  $OD$  の中点を  $M$ , 線分  $BM$  と線分  $DH$  の交点を  $P$  とするとき,  $\overrightarrow{DP} = \frac{1}{2}\overrightarrow{OB} - \frac{3}{4}\overrightarrow{OD}$ ,  $DP = 3$  を満たすとする。このとき, 次の間に答えよ。

- (1) 内積  $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB}$  を求めよ。
- ★(2)  $\triangle OBC$  の面積を求めよ。
- (3) 内積  $\overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{OD}$  を求めよ。
- (4) 線分  $OD$  の長さを求めよ。
- (5)  $DP : PH$  を求めよ。

【入試情報】山形大学の入試問題(2022年度・数学)は, 第1問から第6問まであり, 学部に応じて, 次のように解答することが求められております。

人文社会科学部	第1, 2, 3問	(90分)
理学部	第1, 3, 4, 5問	(120分)
医学部	第1, 3, 5, 6問	(120分)
農学部	第1, 2, 3, 4問	(120分)

★

■今回は, 第3問のうち(2)のみの解答です。(1), (3)~(5)は別ファイルになります。)

第3問は, 「数学B・ベクトル」からの出題です。(2024年度からは数学C)

数専ゼミの通常授業で使っている教材(数学B「ベクトルとその演算」No.27(1/7)~(3/7))と比較してみてください。酷似していることに気づくことと思います。

■数専ゼミの高校数学教材は, 山形大学医学部の入試問題にフォーカスをあてて作成してあります。だから, この教材を学び切ることで, 医学部の入試問題を解く力が自然に身につきます。

■ために,

「数専ゼミの入試対策基礎教材」(数学B「ベクトルとその演算」No.27(1/7)~(3/7))を学習してから, 入試問題(第3問(2))を解いてみてください。すらすらと解けることにびっくりします。

★

【考え方】(2)では, ベクトルを使った三角形の面積の公式を使って求めるが, このときに

必要なデータは,  $|\overrightarrow{OB}|^2$  と  $|\overrightarrow{OC}|^2$  と  $\overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{OC}$  であるが,  $|\overrightarrow{OB}|^2$  と  $|\overrightarrow{OC}|^2$  は条件で与えられており,  $\overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{OC}$  は, 条件  $\overrightarrow{OC} = 3\overrightarrow{OA} - \overrightarrow{OB}$  を変形して, 両辺を2乗することで得られる。

\*したがって, (1), (2)では, ベクトルの位置関係を表す図は必要ない。

(次のページへつづく) ↗

## □ □ 【山形大学入試問題・前期 2022年度・第3問(2)】 - 〈2枚目/2枚〉

↗ (前のページからのつづき)

[答 案]

★(2) △OBCの面積を求める。

◀ベクトルを使った三角形の面積を求める公式を使う。

① (内積 $\vec{OB} \cdot \vec{OC}$ を求める)

$$\text{条件 } \vec{OC} = 3\vec{OA} - \vec{OB} \text{ より, } 3\vec{OA} = \vec{OB} + \vec{OC} \quad \dots \textcircled{1}$$

①の両辺を2乗して,

$$(3\vec{OA})^2 = (\vec{OB} + \vec{OC})^2$$

$$9|\vec{OA}|^2 = |\vec{OB}|^2 + 2\vec{OB} \cdot \vec{OC} + |\vec{OC}|^2 \quad \dots \textcircled{2}$$

条件より,  $OA = 2$ ,  $OB = 3$  を②に代入して,

$$9 \times 2^2 = 3^2 + 2\vec{OB} \cdot \vec{OC} + (\sqrt{15})^2$$

$$2\vec{OB} \cdot \vec{OC} = 36 - 9 - 15 = 12$$

$$\vec{OB} \cdot \vec{OC} = 6$$

② (公式を使って面積を求める)

したがって,

$$\Delta OBC = \frac{1}{2} \sqrt{|\vec{OB}|^2 |\vec{OC}|^2 - (\vec{OB} \cdot \vec{OC})^2}$$

$$= \frac{1}{2} \sqrt{3^2 \cdot (\sqrt{15})^2 - 6^2}$$

$$= \frac{1}{2} \sqrt{9 \cdot 15 - 36}$$

$$= \frac{3\sqrt{11}}{2}$$

◀ベクトルを使った三角形の面積を求める公式

◀条件より,  $OB = 3$ ,  $OC = \sqrt{15}$ ①より,  $\vec{OB} \cdot \vec{OC} = 6$ ◀ $\sqrt{99} = 3\sqrt{11}$